

特集「ダイバーシティ社会に向けたコラボレーション支援とネットワークサービス」の編集にあたって

金井 秀明^{1,a)}

近年、社会構造の少子高齢化、産業構造のグローバル化にともない、高齢者、障がい者や健常者も含めた多様性の受容と促進したダイバーシティ社会の構築が求められています。その実現には、多種多様な人が参加し、連携するための環境整備のほかに、それらを支える高度で工夫されたコラボレーション支援技術や質の高いネットワークサービスが不可欠である。現在、コンピュータや通信機器など急速な発展とその利用環境変化、情報メディアの多様な発展など社会における情報通信環境が変化し続けています。ネットワークを介した情報共有が多様な人々の創造的活動をつなぎ発展させる原動力として期待され、ダイバーシティ社会の構築に向けた情報通信環境が整えられつつあります。

そこで、私たちの社会・地域、日常生活、ビジネス、教育・学習などさまざまな場面を、より豊かで快適にし、多種多様な人が参加し、連携を考慮したコラボレーションシステムやネットワークサービスの研究開発および社会的実践や社会実装の推進が必要である。本特集は、これに関連する研究論文を、時宜を得て迅速に一括掲載することにより、社会に成果を公開し、グループウェアとネットワークサービスに関する研究のいっそうの発展に寄与することを目指した。

本特集号には、24件の論文が投稿され、2016年4月に第1回編集委員会を開催し、投稿論文が特集号のテーマに合致しているかを審議し、24件を対象として査読を開始した。2016年6月に第2回編集委員会を、2016年9月に第3回編集委員会を開催し、慎重な審議の結果、最終的に10件の論文を再録した。採択率は約42%であった。採択論文の内容は、医療支援、組織知の共有、会議の活性化などグループインタラクション支援に関するもの5件、ネットワーク効率化、3Dチャット、多言語支援などネットワークサービスに関するもの3件、社会的実践を含んだ災害支援に関するもの2件である。コラボレーション支援技術の高度化や質の高いネットワークサービスの実現につながる優

れた論文を多数掲載することができた。今回残念ながら不採録になった論文の中にも興味深い内容の論文が多くあった。著者の皆様には、ぜひとも研究を継続していただき、再投稿されることをお願いしたい。

最後に特集号を編集にあたり、優れた多数の論文を投稿していただいたすべての著者の貢献にお礼を申し上げたい。また、予定どおり発刊できたのは、多忙の中、短期間の査読に協力いただいた査読者の方々、江木啓訓、井上亮文、両幹事をはじめとする編集委員、学会関係者の多大なご尽力のおかげであり、ここに心から感謝申し上げたい。

「ダイバーシティ社会に向けたコラボレーション支援とネットワークサービス」特集号編集委員会

- 編集長
金井秀明（北陸先端科学技術大学院大学）
- 幹事
江木啓訓（電気通信大学）、井上亮文（東京工科大学）
- 編集委員
市川裕介（NTT）、市野順子（香川大学）、市村 哲（大妻女子大学）、井上智雄（筑波大学）、上杉 繁（早稲田大学）、大平雅雄（和歌山大学）、岡田謙一（慶應義塾大学）、岡本昌之（東芝）、金子 聡（日本アイ・ビー・エム・サービス）、川口信隆（日立製作所）、糸 照宣（富士通研究所）、小林 稔（明治大学）、斉藤典明（NTT）、高田秀志（立命館大学）、中村聡史（明治大学）、中山泰一（電気通信大学）、服部 哲（駒澤大学）、樋山淳雄（東京学芸大学）、福島 拓（静岡大学）、三樹弘之（沖電気）、宗森 純（和歌山大学）、由井蘭隆也（北陸先端科学技術大学院大学）、湯澤秀人（富士ゼロックス）、吉野 孝（和歌山大学）

¹ 北陸先端科学技術大学院大学
Japan Advanced Institute of Science and Technology, Nomi,
Ishikawa 923-1292, Japan

^{a)} hideaki@jaist.ac.jp